

## はじめに

本村は、恵まれた豊かな自然の中で、明治22年の町村制施行以来「松川村」として、今日まで合併・分村を経験せずに自立した村として着実に発展を続け、令和元年には村政施行130周年を迎えました。この間、美しい屋敷林のある田園風景や雄大な有明山のふもとに広がる扇状地など緑豊かな自然環境を有する村として、ここに暮らす人やこの地を訪れる人に快適な空間を提供し続けてまいりました。

今後の村づくりの指針であります松川村第7次総合計画の前期5か年計画が令和2年度からスタートします。当計画は、『美しい自然とともに、みんなが明るく幸せに満ちた村』を基本理念に掲げ、松川村の魅力である豊かな自然とその暮らしを基に、更に魅力ある村とする計画です。また、『みんなで創る「心豊かに暮らせる支えあいの村」』を将来像とし、家族や、地域、社会が支えあいながら活気ある村を村民みんなと一緒に創りだし、健康で豊かな村を実現します。

今日まで、農業を基盤産業として村づくりを進めてきました本村は、近年の厳しい社会情勢・経済情勢や、住民の価値観などの多様化により、徐々に都市化の傾向をみせています。この都市化に対応するため、住環境、公共施設、公園緑地など都市基盤整備に積極的に取り組んできましたが、今後も引きつづき住民のふれあいを大切に、安全で安心して暮らせる居住環境を維持するとともに、安曇野らしい田園風景と恵まれた自然環境の保全、農・商・工・観などのバランスのとれた各産業の活性化を図り、今後の村づくりを進めてまいります。

今回の都市計画基礎調査においては、広範囲なデータ収集、多様な面から村の姿を数値化し、長期的で社会情勢の変化に沿った分析・検討を行いました。今ある村の状況を的確に判断・把握した上で、村づくりの目標と基本的な考え方を整理するとともに、将来の人口フレームや都市機能需用の高まりに対応できる質の高い豊かな都市形態の形成に向け取り組んでいきます。

この調査を進めるにあたって、長野県建設部都市・まちづくり課、大町建設事務所をはじめ貴重な資料をご提供戴いた関係機関のご協力に感謝申し上げ、この調査が本村の豊かな将来のための指針であれば幸いです。

令和2年3月

松川村長 平林明人